



リファレンス・マニュアル

Mpression Beryll Board

Revision 1.0

2014/2




目次

1. 安全使用上の注意	3
1.1 シンボルの説明	3
1.2 注意事項	3
1.3 製造者情報	5
2. 重要事項	6
3. 使用前にご確認ください	8
4. Beryll ボードおよびハードウェア概要	9
4.1 概要	9
4.2 製品仕様	9
4.3 ブロックダイヤグラム	10
4.4 ボード仕様	10
5. Beryll 搭載デバイス	14
5.1 Cyclone V GX FPGA	14
5.2 FPGA およびコンフィギュレーション ROM へのプログラミング	14
5.3 コンフィギュレーション ROM へのプログラミング	16
5.4 コネクタピンアサイン	19
5.5 シリアル・ポート	22
5.6 DDR3 SDRAM	22
5.7 FLASH / SRAM	24
5.8 USB 2.0	25
5.9 10 / 100 イーサネット	26
5.10 24 ビットオーディオ・コーデック	27
5.11 ユーザーインタフェース	28
5.12 クロック回路	29
5.13 電源ツリー	31
6. 使用上の注意点	32
7. 改定履歴	33



1. 安全上の注意



ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

1.1 凡例

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

1.2 注意事項

 危険	本マニュアルで指定された仕様に基づく AC アダプタ (梱包品) を使用してください。指定の仕様を満たさない AC アダプタを使用した場合は、キットの発熱、破裂、発火の原因となります。
 警告	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本体や AC アダプタを入れないでください。本体や AC アダプタの発熱、破裂、発火、発煙、部品の破壊、変更などの原因となります。
	使用中の本体を布など熱のこもりやすいもので包んだりしないでください。 熱がこもり、発火、故障の原因となることがあります。
	本体を廃棄する時は、他の一般ゴミと一緒に捨てないで下さい。 火中に投げると破裂する恐れがあります。廃棄方法については、廃棄物に関する各種法律・法令・条例等に従ってください。
	極端な高温、低温、また温度変化の激しい場所で使用しないで下さい。 故障の原因となります。周囲温度は 5℃ ～ 35℃、湿度は 0% ～ 85% の範囲でご使用ください。
	電源コードを強く引っ張ったり、重いものを乗せたりしないでください。 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工したりしないでください。 傷ついた部分から漏電して、火災・感電の原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電による怪我や故障の原因になります。
	電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。 しっかり差し込まないと、感電や発電による火災の原因となります。
	タコ配線を行ったり、AC アダプタの規格電圧以外の電源に接続したりしないでください。 故障や感電、発熱による火災の原因となります。

 <p>警告 (前項から継続)</p>	<p>電源プラグのほこりを定期的に拭き取り、コンセント周辺のたまったほこりを取り除いてください。</p> <p>ほこりがたまったままで使用していると湿気などで、絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <p>電源プラグやコンセント周辺のほこりは、乾いた布で拭き取ってください。</p> <p>当ボードにコップや花瓶など、水や液体が入った容器を置かないでください。</p> <p>当ボードに水や液体が入ると、故障や感電の原因になります。水などをこぼした場合は、使用を中止し、電源を切って電源プラグを抜いてください。修理や技術的な相談はアルティマへお問い合わせください。</p>
 <p>注意</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた場所等、不安定な場所には置かないでください。</p> <p>落下して、けがや故障の原因になります。</p> <p>直射日光の強い場所や炎天下の車内など高温の場所で使用、放置しないでください。</p> <p>発熱、破損、発火、暴走、変形、故障の原因になります。また、機器の一部が熱くなり、火傷の原因となる場合もあります。</p> <p>本体を組み込んだ装置の保守中は、電源を抜いて作業してください。</p> <p>感電の危険性があります。</p> <p>ボードに無理な力がかかるような場所に置かないでください。</p> <p>基板の変形により、基板の破損、部品の脱落、故障の原因となります。</p> <p>拡張ボードや他の周辺機器と一緒にお使いの場合には、それぞれ個別の取り扱い説明書をよく読んで適正にお使いください。</p> <p>本マニュアルに記載されているもの、また別途動作を確認できていることを公表しているものの他は、特定の拡張ボードや周辺機器の相互動作は保証いたしかねます。</p> <p>当ボードを移動・接続するときは、電源スイッチを切ってください。</p> <p>電源をいれたまま移動・接続すると、故障や感電の原因になります。</p> <p>ベンジンやシンナーなど化学薬品を含んだ雑巾で手入れしないでください。</p> <p>当ボードが変質する可能性があります。科学雑巾を使用するときは、その注意書きに従ってください。</p> <p>当ボードを箱から取り出した際、機器本体に結露が発生した場合は、すぐに電源を入れないでください。</p> <p>当ボードを箱から取り出す際、冷えたボード本体が部屋の暖かい空気により結露が発生することがあります。</p> <p>結露があるまま電源を入れると、当ボードが破損したり、部品の寿命が短くなる場合があります。</p> <p>当ボードを取り出したら室温になじませてください。結露が発生した場合は、水滴が蒸発してから設置や接続を行ってください。</p> <p>カスタマイズ可能と明示している部分以外の分解、解体、改変、改造、再生はしないでください。</p> <p>本キットはカスタマイズが可能なキットですが、本マニュアルに指定された部分以外は基本動作に必要な部分に何らかの外部の手が加わることで製品全体の動作保証が出来なくなります。本マニュアルに記載されているカスタマイズ可能部分以外のカスタマイズをご希望の場合には、はじめに必ずアルティマにご相談ください。</p>

1.3 開発元情報

株式会社アルティマ
技術統括部
ソリューション 1 部
〒222-8563 横浜市港北区新横浜 1-5-5

詳しくは、Web サイトをご覧ください。

1.4 問い合わせ情報

ご購入頂いた販売代理店、もしくは下記 Web のお問い合わせフォームよりお問い合わせ下さい。

<http://www.m-pression.com/ja/contact>

2. 重要事項

最初にお読みください:

- ・ 当製品のご使用前に必ず当リファレンス・マニュアルをお読みください
- ・ 当リファレンス・マニュアルは、お手元にお持ちください
- ・ ボードの構成を十分にご理解頂いた上でボードをご使用ください

当製品の用途：

- ・ 当製品は、アルテラ社のCyclone[®] V GX FPGA を使用するシステムの検証用ボードとしての使用を想定しております。当ボードをご使用頂く事で、ソフトウェア、ハードウェアの検証を行って頂く事が可能です。

当製品をご使用されると想定するお客様：

- ・ 当製品は、ユーザーマニュアルおよびGetting Started を精読し、開発ボード及びFPGA の取扱いに熟知された方の使用を想定しております。当製品を使用するには、FPGA、ロジック回路、および電子回路への基本的な知識を必要といたします。

当製品を使用頂く際の注意事項：

- ・ 当製品は、お客様のプログラム開発および評価段階で使用するための評価用ボードとなります。
お客様の設計されたプログラムの量産時においては、当ボードをお客様の装置に組込んで使用することはできません。また、開発済の回路については、必ず統合試験、評価、または実験などにより実使用の可否をご確認ください。
- ・ 当製品の使用から生ずる一切の結果について、株式会社マクニカ(以降マクニカ)は責任を持ちません。
- ・ マクニカは、潜在的に内包されるすべての危険性を評価予期しているわけではありません。したがって当ボードやリファレンス・マニュアル内の警告や注意は、すべての警告や注意を含んでいるわけではありません。それゆえ、当製品をご使用の際は、ユーザー様ご自身で製品を安全にご利用頂く必要があります。
- ・ すべてのUSB メモリやSD カード、および消耗品は保証外となります。
- ・ LAN インタフェース接続用機器の接続コネクションについては、保証外となります。
- ・ 製品の改造又は、お客様による製品の損傷時は、交換対応ができません。
- ・ 当製品は、鉛フリー製品を使用した製品です。
- ・ 当マニュアルに記載のあるいずれのベンダの商標および登録済み商標の権利は、各ベンダに帰属します。

製品改善のポリシー：

- ・ マクニカは、製品のデザイン、パフォーマンスおよび安全性に関して製品を常に改善し続けます。
マクニカは、お客様に予告なく、いつでも製品のドキュメント、リファレンス・マニュアル、デザインおよび一部およびすべての仕様を変更する権利を保有します。

製品の RMA について：

- ・ 製品の納品後、30日以内の初期不良に関しましては無償交換にて対応させていただきます
但し、以下の場合は無償交換の対応ができませんのでご了承ください。

- (1) 製品の誤使用または、通常使用環境ではない状況での製品の損傷
- (2) 製品の改造または補修
- (3) 火災、地震、製品の落下やその他アクシデントによる損傷

図および写真：

- ・ 図や写真は、お手元にある実際の製品とは異なる可能性があります。

3. 使用前にご確認ください

梱包の開封時点でそれぞれ同梱されているか、破損など無いかを確認してください。
梱包物が足りない場合や、外見上認識できる破損を発見した場合には、お届けより30 日以内に弊社の担当営業までご連絡ください。

Customer letter	
Beryll ボード	
USB スタンドアード A to Mini-B プラグケーブル	
AC アダプタ (出力 12V)	
リファレンス・マニュアル	これらのファイルは、レターに記載されているURL よりダウンロードしてください。
Beryll ボード回路図	
FPGA サンプルデザイン	

4. Beryll ボードおよびハードウェア概要

4.1 概要

当ボードは、アルテラ 社のローコストFPGA であるCyclone V GX FPGA を使用したFPGA 開発ボードです。当開発ボードは以下のような特徴があります。

- A. Cyclone V GX FPGA を使用し、柔軟にユーザ・ロジックの開発・検証が可能。
- B. アルテラ社の ドータ・カード・コネクタ (以下、HSMC という) を搭載し、システム拡張が可能
- C. On-Board USB-Blaster™ 回路を搭載しており、USB ケーブルを接続することで FPGA のコンフィギュレーション回路をダウンロード可能
- D. Cyclone V FPGA より新規搭載された HMC (ハード・メモリ・コントローラ) をマイクロン社の DDR3 メモリと共に評価可能

4.2 製品仕様

表 1 に 当ボードの製品仕様を示します。

表 1 Beryll ボード製品仕様

機能	部品 又は 仕様
FPGA	5CGXFC4C6F27C
Power Supply	DC 12 V 3.8 A
Dimensions	140.00 mm x 155.00 mm
HSMC	ASP-122953-01
Printed Circuit Board	FR4 10-layer
Configuration ROM	EPSC128S116N
SRAM	IDT71V416S10PHG8 (512 KByte)
DDR-SDRAM	DDR3-800 256 MBytes (128 MByte x 2) MT41J64MJT
Flash ROM	JS28F256M29EWLA (32 MByte)
USB 2.0 (Mini-B)	CY7C68013A-56LTXC
Audio	UDA1345TS
Ethernet	DP83865DVH
Clock (for FPGA)	27 MHz x 1, 33 MHz x 1, 50 MHz x 1, 125 MHz x 1
JTAG Connector	DIP 10-pin Header, 2.54-mm pitch x 1
Status LED	12 pcs (12V_POWER, HSMC PSNTn, nSTATUS, nCONFIG, CONF_DONE, INIT_DONE, Blaster, ACT, LK10, LK100, LK1000, DUPLEX)
FPGA Reconfiguration Push SW	1 (SYS_RESET)
General-purpose LED	8
General-purpose Push SW	4
General-purpose Dip SW	1 (SW0-SW3)
General-purpose 7 Segment LED	2
Character LCD Connector	1 (3.3-V) * A character LCD is optional.
Power SW	1
RS-232C	DB9 Female Connector

(注) 当ボードには、キャラクタ LCD のコネクタが付属していますが、LCD ディスプレイは付属しておりません。LCD はお客様にてご用意頂けます様お願いします。

4.3 ブロックダイアグラム

図 1 に当ボードのブロックダイアグラムを示します。当ボードは Cyclone V GX FPGA の評価ボードという特性上、すべての機能が Cyclone V GX FPGA に集約されています。

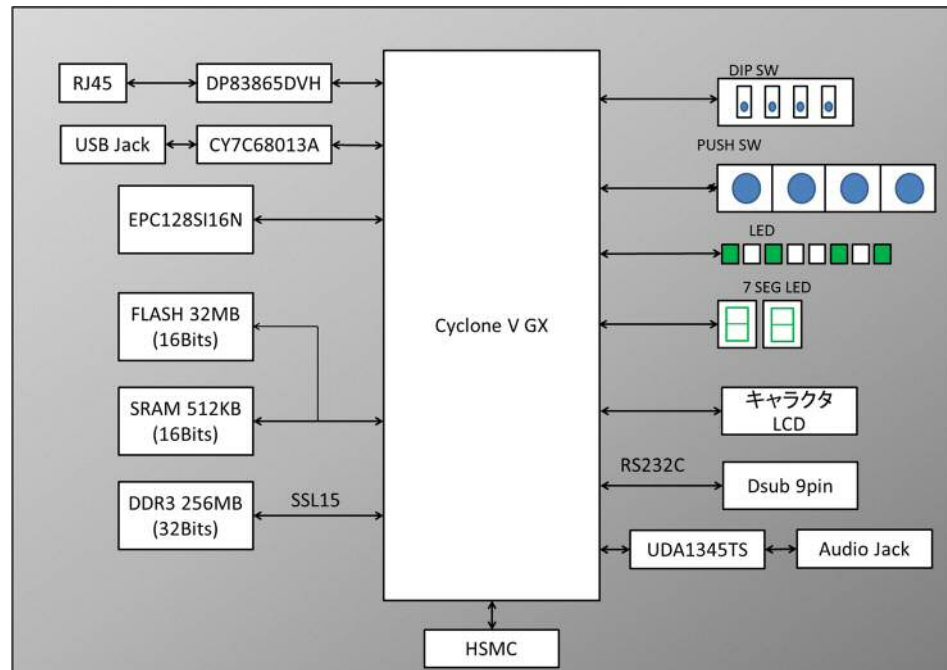


図 1 Beryll ボードブロックダイアグラム

4.4 ボード仕様

この章では、当ボードのスイッチ・コネクタおよび部品のレイアウトに関して解説します。

4.4.1 Beryll スイッチ/ コネクタ レイアウト

図 2 に当ボードのスイッチ / コネクタのレイアウトを示します。

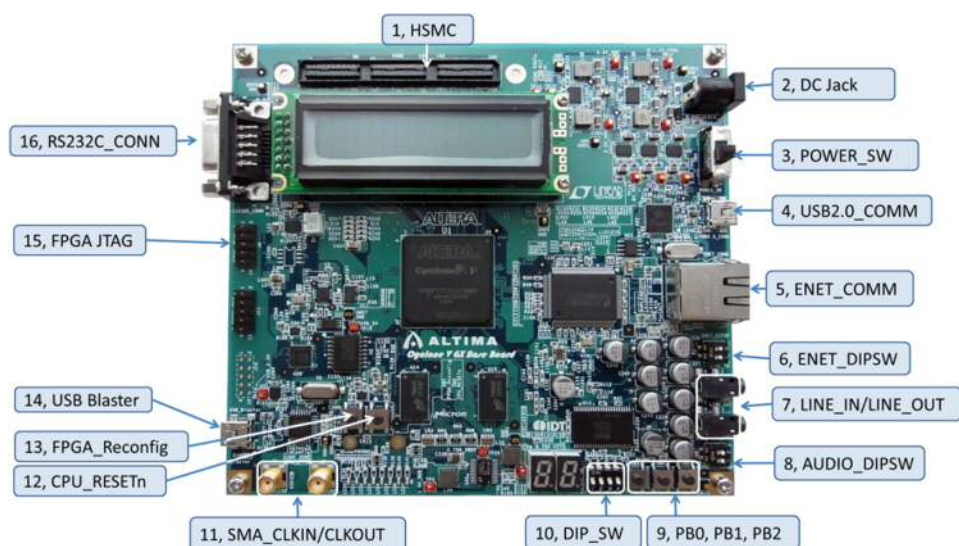


図2 Beryll スイッチ,コネクタレイアウト

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 HSMC | 9 汎用プッシュスイッチ |
| 2 DC ジャック | 10 汎用 DIP スイッチ |
| 3 電源スイッチ | 11 SMA コネクタ |
| 4 USB2.0 ミニ-B コネクタ | 12 リセット用プッシュスイッチ |
| 5 イーサネットコネクタ RJ45 | 13 FPGA リコンフィギュレーション用プッシュスイッチ |
| 6 イーサネット DIP スイッチ | 14 USB ブラスター用コネクタ |
| 7 オーディオライン入力/出力 | 15 FPGA 用 JTAG コネクタ (未搭載) |
| 8 オーディオ DIP スイッチ | 16 RS232C コネクタ |

4.4.2 Beryll 部品レイアウト

図 3 に当ボード の主な部品レイアウトを示します。

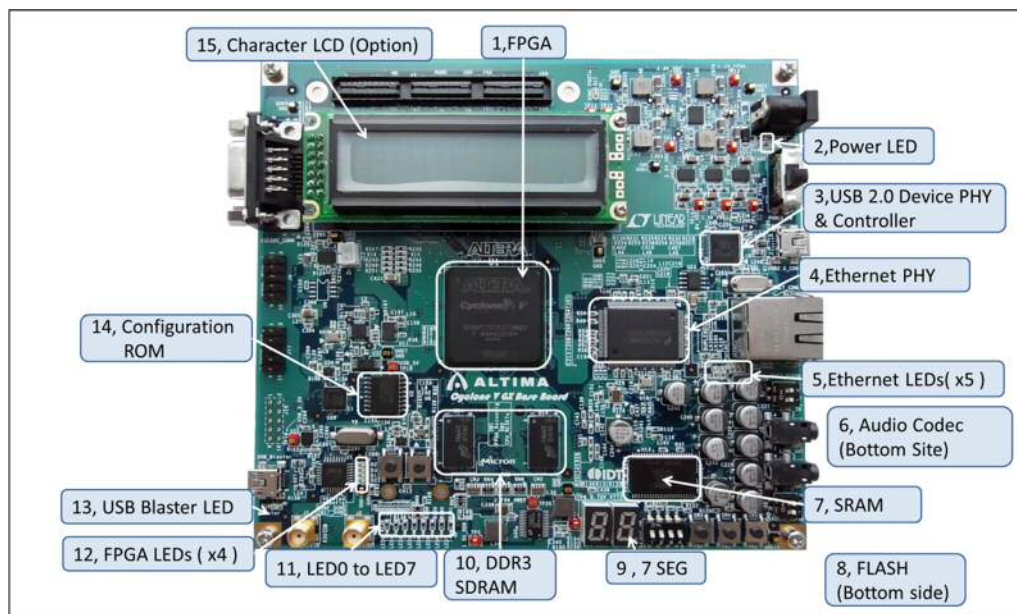


図 3 Beryll コンポーネント・レイアウト

- | | |
|--|---|
| 1 Cyclone V GX FPGA | 9 7 セグ LED |
| 2 パワー LED | 10 DDR3 SDRAM |
| 3 USB2.0 デバイスPHY コントローラ | 11 ユーザー LED |
| 4 イーサネット PHY | 12 FPGA ステータス LED × 4
(nSTATUS/ nCONFIG/ CONF_DONE/ INIT_DONE) |
| 5 イーサネット LED × 5
(ACT/ LK10/ LK100/ LK1000/ DUPLEX) | 13 USB_BLAZER LED |
| 6 オーディオ・コーデック | 14 コンフィギュレーション・ロム |
| 7 SRAM | 15 キャラクタ LCD (Option) |
| 8 FLASH | |

4.4.3 Beryll スイッチ / LED レイアウト及び仕様

図 4 に当ボードのスイッチ / LED のレイアウトを示します

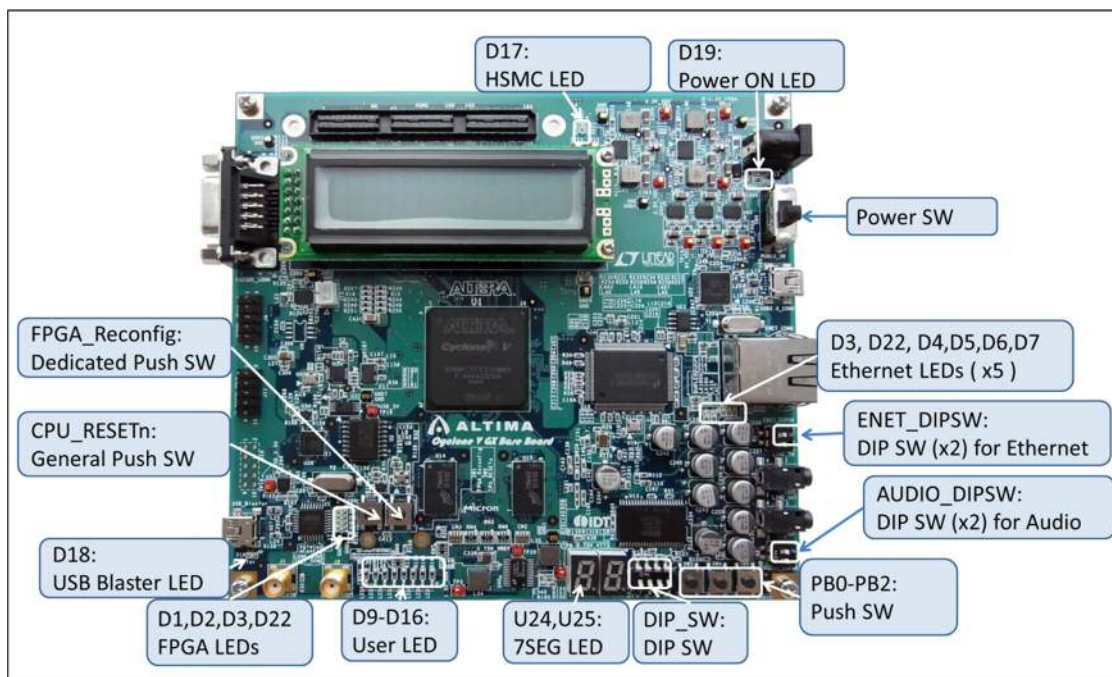


図 4 スイッチおよび各 LED の位置

表 2 に各 LED の機能を示します。

表 2 LED 仕様

部品位置	機能
D1	FPGA CONF_DONE チェック用 LED
D2	FPGA nSTATUS チェック用 LED
D3	FPGA nCONFIG チェック用 LED
D4	ACT : 通信時の確認用LED
D5	LK10 : 10Mbps通信時のリンク確認用LED
D6	LK100 : 100Mbps通信時のリンク確認用LED
D7	LK1000 : 1Gbps通信時のリンク確認用LED
D8	DUPLEX : 全二重通信時の確認用LED
D9-D16	汎用 LED x8
D17	HSMCドータボード実装時LED
D18	USB Blasterケーブル接続確認
D19	+12V電源 LED
D22	FPGA INIT_DONE確認用のLED
U24, U25	汎用7セグメントLED x2

表 3 に各スイッチの機能を示します。

表 3 スイッチ仕様

部品ロケーション	初期値	機能
POWER_SW	下スライド	下スライド:電源OFF, 上スライド:電源ON
ENET_DIPSW	2つともOPEN	CRS/RGMII_SEL0 Open : RGMII - 3COM Short : RGMII - HP COL/CLK_MAC_FREQ Open : 125MHz output Short : 25MHz output 二つともOpenでお使いください
AUDIO_DIPSW	2つともOPEN	AUDIO_MP2 Open : StaticPin Low or FPGA Control Short : StaticPin and Mid Voltage AUDIO_MP4 Open : StaticPin High or FPGA Control Short : StaticPin and Mid Voltage
DIP_SW	なし	汎用ディップスイッチ (x 4)
CPU_RESETh, PB0,PB1,PB2	なし	汎用プッシュSW
FPGA_Reconfig	なし	FPGAのリコンフィグレーションプッシュSW

5. Beryll 搭載デバイス

この章では、当ボードを使用する際にお客様がご使用になられる FPGA 及び周辺に搭載されている各種コンポーネントについて解説します。

5.1 Cyclone V GX FPGA

当ボードにはアルテラ社 28nm ローコスト FPGA Cyclone V GX が搭載されています。搭載されている Cyclone V GX FPGA の仕様を表 4 に示します。

表 4. Cyclone V GX FPGA Specification

デバイス	コア・ファブリック						インタコネクト			ハード IP	
	LE 数	メモリ ブロック数	ブロック・ メモリ (Kb)	MLAB (Kb)	DSP ブロック数	PLL 数	トランシーバ 数	GPIO ピン数	LVDS ペア数	PCIe ブロック数	メモリ・ コントローラ数
5CGXC4	50K	250	2,500	295	70	6	6	336	90	2	2

5.2 FPGA および コンフィギュレーション・デバイスへのプログラミング

FPGA と EPCS コンフィギュレーション・ロムへのプログラミングには、当ボードに添付するミニ USB ケーブルを(U27) の On-Board USB-Blaster™ に接続してコンフィギュレーション・ファイルの書き込みを行います。そのため、別途アルテラ社の USB-Blaster ケーブルなどのプログラミング・ハードウェアが必要ありません。

5.2.1 はじめに

Quartus® II 開発ソフトウェアの Programmer を使用し、デバイスにプログラミング(Configuration file の書き込み)を行います。はじめて使用する場合は、各プログラミング・ハードウェアのドライバ・インストールが必要です。

5.2.2 FPGA へのプログラミング操作方法

ここでは、プログラミングの基本操作を紹介します。

A. Programmer の起動

プログラミング・ハードウェアを接続し、Quartus II 開発ソフトウェアの Tools メニュー ⇒ Programmer または、



ボタンをクリックします。

B. プログラミング・モードの選択


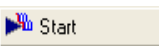
Mode のプルダウン・リストより、デバイスへの書き込みを実行する手法を選択します。

当ボードでは、JTAG を選択します。

C. プログラミング・ハードウェアの設定

- a. Hardware Setup ボタンをクリックします。
- b. Hardware Setup ウィンドウの Hardware Settings タブを選択します。
- c. Current selected hardware のプルダウン・リストから、使用するプログラミング・ハードウェアを選択します。(④へ進んでください。)プルダウン・リストに使用するプログラミング・ハードウェアが無い場合は、Add Hardware ボタンをクリックします。
- d. Add Hardware ダイアログ・ボックスの Hardware type から USB-Blaster を選択し、OK ボタンをクリックします。
- e. Hardware Setup ウィンドウの Currently selected hardware から USB-Blaster を選択し、Close ボタンをクリックします。

D. プログラミング

- a.  ボタンをクリックし、デバイスに書き込むプログラミング・ファイル(*.SOF)を選択します。
- b. プログラミング・オプションは、デバイスにデータを書き込む時は、「Program / Configure」にチェックを入れてください。
- c.  ボタンをクリックし、プログラミングを開始します。

《 参考情報 》

※ POF ファイル(*.pof) : MAX[®] CPLD シリーズ、コンフィギュレーション・デバイス用のプログラミング
ファイル

※ SOF ファイル(*.sof) : Stratix[®] FPGA、Arria[®] FPGA および Cyclone FPGA などの FPGA 用の
プログラミング・ファイル

※ JIC ファイル(*.jic) : コンフィギュレーション・ロム用のプログラミング・ファイル

《 参考情報 》

◆ Program / Configure

デバイスへプログラミング・データを書き込み(プログラミング)します。

◆ Verify

Programmer に登録されたプログラミング・データの内容と、デバイスに書き込まれたプログラミン
グ・データを比較し検証します。

◆ Blank-Check

デバイスの中身が空であること、つまり完全に消去されていることを確認します。

◆ Examine

MAX CPLD デバイスやコンフィギュレーション・デバイスに既書き込まれているプログラミング・データを吸い上げます。

- ※ Security Bit オプション(下記)を有効にして書き込んであるデータの場合、正しいデータを吸い出すことができません。
- ※ Examine を実行しても、デバイス内のデータは消去されません。
- ※ 吸い出されたデータからデザイン・ファイルへ復元することはできません。

◆ Security Bit

デバイスに書き込まれたデータの検査や、Examine によりロードされたデータが再プログラミングされても復成されることを防ぎます。(MAX[®] 7000 および MAX[®] 3000 のみでサポート)

◆ Erase

MAX CPLD デバイスやコンフィギュレーション・デバイス内のデータを消去します。

◆ ISP CLAMP

IPS ファイル(*.ips)を活用して、プログラミング中の I/O ピン状態を設定します。

(MAX[®] 7000B、MAX[®] II のみサポート)

5.3 EPCS configuration ROM へのプログラミング

5.3.1 はじめに

FPGA デバイスの JTAG Indirect Configuration (以下 JIC) 機能を利用して、JTAG インタフェースをサポートしていない EPCS デバイスを JTAG チェーン経由でプログラミングすることが可能になります。

5.3.2 JIC の概要

Cyclone V FPGA デバイスのコンフィギュレーション・デバイスとして EPCS デバイスを使用する場合、データ転送方式はアクティブ・シリアル・コンフィギュレーション・モード (AS モード) をサポートしています。AS モードでコンフィギュレーションを行う場合は、EPCS コンフィギュレーション・デバイスに、AS モードでプログラミングするための 10 ピン・ヘッダが必要です。一方、FPGA に対して JTAG ポート経由でデータのコンフィギュレーションや、SignalTap[®] II によるデバッグを行う場合は、JTAG 用の 10 ピン・ヘッダも必要です。

しかし JIC 機能を活用すると FPGA 内部のシリアル・フラッシュ・ローダ・デザインがブリッジとなり、EPCS デバイスに対するプログラミングが JTAG ポート経由で行えるようになります。そのため、AS モード用の 10 ピン・ヘッダを用意する必要がなくなります。それにより基板面積を縮小し、さらなる低コストを実現することが可能です。

5.3.3 EPCS コンフィギュレーション・デバイスへのプログラミング 操作方法

シリアル・フラッシュ・ローダ経由のプログラミングは、従来の SOF ファイルや POF ファイルではなく、JIC ファイルで行います。FPGA 用のコンフィギュレーション・ファイルの SOF ファイルから JIC ファイルを作成し、プログラミングを実行します。

操作フローは以下のとおりです。

ステップ 1 : デザインのコンパイル(プログラミング・ファイルの作成)

ステップ 2 : JIC ファイルの作成

ステップ 3 : プログラミング

ステップ 1. デザインのコンパイル

JIC ファイルのもとになるコンフィギュレーション・ファイル (.sof) を生成するため、デザインのコmpイルを行います。

- Processing メニュー ⇒ Start Compilation を選択、または  ボタンをクリック

ステップ 2. JIC ファイルの作成

コンパイル後に生成された SOF ファイルから、JIC 用のプログラミング・ファイルである *.jic ファイルを作成します。

- 1) File メニュー ⇒ Convert Programming Files を選択します。
- 2) Output Programming File 項目にて、作成するファイル・フォーマット、コンフィギュレーション・デバイス、出力ファイル名を設定します。
 - ・ Programming file type に JTAG Indirect Configuration File (.jic) を選択します。
 - ・ Configuration device にプログラミングするコンフィギュレーション・デバイスの型式を設定します。当ボードでは、EPCS128 を選択します。
 - ・ File name に出力ファイルの生成パスと出力ファイル名を指定します。
 - Input files to convert 項目に、シリアル・フラッシュ・ローダ・デザインを使用する FPGA の型式を選択します。
 - ・ Flash Loader 行を選択し、Add Device ボタンをクリックします。
 - ・ Select Device ダイアログ・ボックスにて Device family を Cyclone V GX、Device name を選択し、OK ボタンをクリックします。
 - JIC ファイルのもとになるコンフィギュレーション・ファイル (.sof) を指定します。
 - ・ SOF Data 行を選択し、Add File ボタンをクリックします。
 - ・ 変換する sof ファイルを選択し、“開く”ボタンをクリックします。
 - プログラミング・ファイルを圧縮する場合は、圧縮したい SOF ファイルを選択し、

Properties ボタンをクリックします。SOF File Properties ダイアログ・ボックスにて、Compression オプションにチェックを入れ OK ボタンをクリックします。


- Generate ボタンをクリックします。

“Generated <jic ファイル名> successfully” のメッセージが表示され、JIC ファイルの作成が完了します。


ステップ 3. プログラミング

生成した JIC ファイルを EPCS デバイスに JTAG モードでプログラミングします。

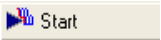
- 1) Programmer を起動します。

Tools メニュー ⇒ Programmer を選択、または  ボタンをクリックします。

- 2) 使用するハードウェア(ダウンロード・ケーブル)および Mode に JTAG を選択します。

- 3)  ボタンをクリックし、JIC ファイルを選択します。

- 4) JIC ファイル行の Program/Configure オプションにチェックを入れます。

- 5)  ボタンをクリックし、プログラミングを開始します。

はじめに FPGA デバイス内のシリアル・フラッシュ・ローダが有効になり、その後シリアル・フラッシュ・ローダを経由して EPCS プログラミングが実行されます。プログラミングが正常に終了すると、Progress のゲージ(Programmer 画面の右上)が 100% になり、Message ダイアログ・ボックスにはプログラミングの成功を知らせるメッセージが確認できます。

以上で、JTAG Indirect Configuration による EPCS デバイスのプログラミングは終了です。

5.4 コネクタピンアサイン

図 4 に当ボードのコネクタ位置及び各コネクタのピン配置を示します。

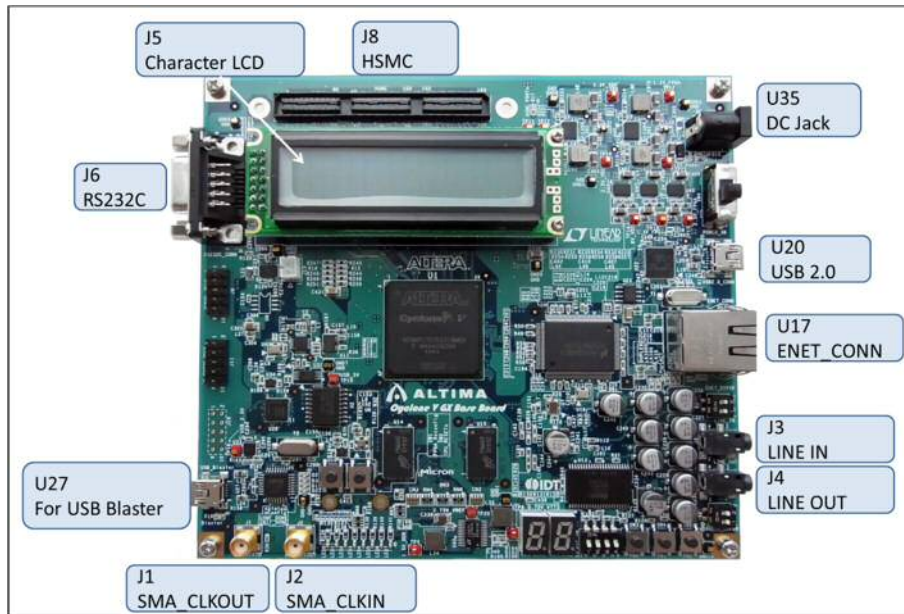
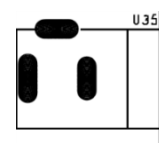


図 4. Beryll コネクタ位置

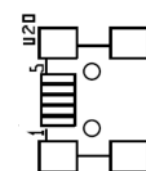
01. U35 (DC ジャック)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	12V	2	NC
3	GND		



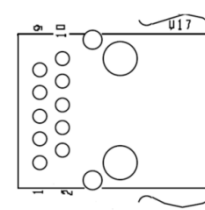
02. U20 (USB 2.0_CONN)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	V_BUS	2	D+
3	D-	4	ID
5	G		



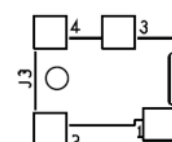
03. U17 (ENET_CONN)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	TD0_P	2	TD0_N
3	TD1_P	4	TD1_N
5	TD2_P	6	TD2_N
7	TD3_P	8	TD3_N
9	VCC	10	GND
11	GND_TAB	12	GND_TAB



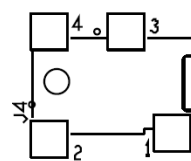
04. J3 (Audio ラインイン)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	GND	2	L
3	R	4	NCI



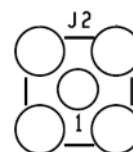
05. J4 (Audio ラインアウト)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	GND	2	L
3	R	4	NCI



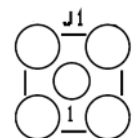
06. J2 (SMA CLKIN)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	SMA_CLK_IN	2	NC
3	NC	4	NC
5	NC		



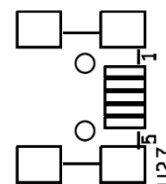
07. J1 (SMA CLKOUT)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	SMA_CLK_OUT	2	NC
3	NC	4	NC
5	NC		



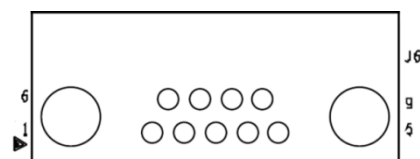
08. U27 (USB-Blaster)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	V_BUS	2	D+
3	D-	4	ID
5	G		



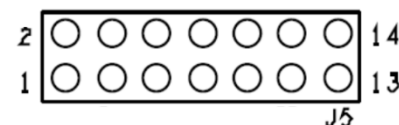
9. J6 (RS232C DSub9 ピンメスコネクタ)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	NC	2	UART_TXD
3	UART_RXD	4	NC
5	NC	6	NC
7	NC	8	NC
9	NC		



10. J5 (キャラクタ LCD)

ピン	信号名	ピン	信号名
1	NC	2	NC
3	NC	4	LCD_RS
5	LCD_RW	6	LCD_E
7	LCD_DATA0	8	LCD_DATA1
9	LCD_DATA2	10	LCD_DATA3
11	LCD_DATA4	12	LCD_DATA5
13	LCD_DATA6	14	LCD_DATA7



11. J8 (HSMC コネクタ)



ピン	信号名	ピン	信号名	ピン	信号名	ピン	信号名
1		2		81		82	
3		4		83	HSMC_2_DATAOUT6_P	84	HSMC_2_DATAIN6_P
5		6		85	HSMC_2_DATAOUT6_N	86	HSMC_2_DATAIN6_N
7		8		87		88	
9		10		89	HSMC_2_DATAOUT7_P	90	HSMC_2_DATAIN7_P
11		12		91	HSMC_2_DATAOUT7_N	92	HSMC_2_DATAIN7_N
13		14		93		94	
15		16		95	HSMC_2_CLKOUT_P	96	HSMC_2_CLKIN_P
17	GX_TXD3_P	18	GX_RXD3_P	97	HSMC_2_CLKOUT_N	98	HSMC_2_CLKIN_N
19	GX_TXD3_N	20	GX_RXD3_N	99		100	
21	GX_TXD2_P	22	GX_RXD2_P	101	HSMC_3_DATAOUT0_P	102	HSMC_3_DATAIN0_P
23	GX_TXD2_N	24	GX_RXD2_N	103	HSMC_3_DATAOUT0_N	104	HSMC_3_DATAIN0_N
25	GX_TXD1_P	26	GX_RXD1_P	105		106	
27	GX_TXD1_N	28	GX_RXD1_N	107	HSMC_3_DATAOUT1_P	108	HSMC_3_DATAIN1_P
29	GX_TXD0_P	30	GX_RXD0_P	109	HSMC_3_DATAOUT1_N	110	HSMC_3_DATAIN1_N
31	GX_TXD0_N	32	GX_RXD0_N	111		112	
33	HSMC_1_DATA0	34	HSMC_1_DATA1	113	HSMC_3_DATAOUT2_P	114	HSMC_3_DATAIN2_P
35	HSMC_1_DATA2	36	HSMC_1_DATA4	115	HSMC_3_DATAOUT2_N	116	HSMC_3_DATAIN2_N
37	HSMC_1_DATA4	38	HSMC_1_DATA5	117		118	
39	HSMC_1_CLKOUT	40	HSMC_1_CLKIN	119	HSMC_3_DATAOUT3_P	120	HSMC_3_DATAIN3_P
41	HSMC_DATA0	42	HSMC_DATA1	121	HSMC_3_DATAOUT3_N	122	HSMC_3_DATAIN3_N
43	HSMC_DATA2	44	HSMC_DATA3	123		124	
45		46		125	HSMC_3_DATAOUT4_P	126	HSMC_3_DATAIN4_P
47	HSMC_2_DATAOUT0_P	48	HSMC_2_DATAIN0_P	127	HSMC_3_DATAOUT4_N	128	HSMC_3_DATAIN4_N
49	HSMC_2_DATAOUT0_N	50	HSMC_2_DATAIN0_N	129		130	
51		52		131	HSMC_3_DATAOUT5_P	132	HSMC_3_DATAIN5_P
53	HSMC_2_DATAOUT1_P	54	HSMC_2_DATAIN1_P	133	HSMC_3_DATAOUT5_N	134	HSMC_3_DATAIN5_N
55	HSMC_2_DATAOUT1_N	56	HSMC_2_DATAIN1_N	135		136	
57		58		137	HSMC_3_DATAOUT6_P	138	HSMC_3_DATAIN6_P
59	HSMC_2_DATAOUT2_P	60	HSMC_2_DATAIN2_P	139	HSMC_3_DATAOUT6_N	140	HSMC_3_DATAIN6_N
61	HSMC_2_DATAOUT2_N	62	HSMC_2_DATAIN2_N	141		142	
63		64		143	HSMC_3_DATAOUT7_P	144	HSMC_3_DATAIN7_P
65	HSMC_2_DATAOUT3_P	66	HSMC_2_DATAIN3_P	145	HSMC_3_DATAOUT7_N	146	HSMC_3_DATAIN7_N
67	HSMC_2_DATAOUT3_N	68	HSMC_2_DATAIN3_N	147		148	
69		70		149	HSMC_3_DATAOUT8_P	150	HSMC_3_DATAIN7_P
71	HSMC_2_DATAOUT4_P	72	HSMC_2_DATAIN4_P	151	HSMC_3_DATAOUT8_N	152	HSMC_3_DATAIN7_N
73	HSMC_2_DATAOUT4_N	74	HSMC_2_DATAIN4_N	153		154	
75		76		155	HSMC_3_CLKOUT_P	156	HSMC_3_CLKIN_P
77	HSMC_2_DATAOUT5_P	78	HSMC_2_DATAIN5_P	157	HSMC_3_CLKOUT_N	158	HSMC_3_CLKIN_N
79	HSMC_2_DATAOUT5_N	80	HSMC_2_DATAIN5_N	159		160	

5.5 シリアル・ポート

当ボードは、1 ポートの非同期のシリアル・ポートを装備しています。RS232C インタフェース用にリニアテクノロジー社の LTC2803 FPGA のトランシーバ及び9ピンの D SUB コネクタを使用しています。FPGA、LTC2803 及び D SUB コネクタのピン情報については、以下の図 5 及びピンリストをご確認ください。なお、シリアルケーブルをご購入の際は、ストレート仕様のものを購入下さい。リニアテクノロジー社 LTC2803 の資料に関しては以下の URL より入手してください。

<http://www.linear.com/product/LTC2803>

*上記のリンク先は予告なく変更されることがあります。

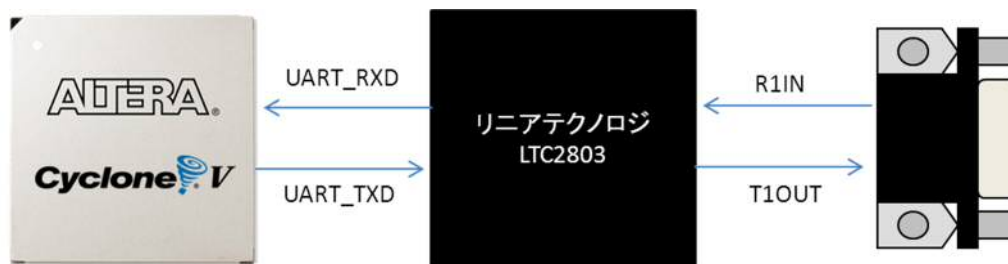


図 5. FPGA 、LTC2803、DB9 コネクタ接続情報

表 5. RS232C ピンリスト

回路図信号名	信号の詳細	FPGA ピン番号	LTC2803 ピン番号 (FPGA 側)	LTC2803 ピン番号 (D-SUB 側)	D-SUB ピン番号
UART_XD	トランスミッタ	Bank 8A_K6	14	3	2
UART_RXD	レシーバ	Bank 8A_L7	16	1	3

5.6 DDR3 SDRAM

当ボードには、マイクロンテクノロジー社の MT41J64M16JT (16bit, 128MByte, 800MHz) を 2 つ搭載し、FPGA の HMC (ハード・メモリ・コントローラ) と接続されています。お客様は、添付のリファレンスデザインを使用していただけことで、Cyclone V GX FPGA のハード・メモリ・コントローラを評価して頂く事が可能です。Cyclone V GX FPGA 並びに DDR3 メモリのピン情報は図 6 をご確認ください。

マイクロン社 MT41J64M16JT のデータシートに関しては、以下の URL より入手してください。

<http://www.micron.com/parts/dram/ddr3-sdram/mt41j64m16jt-15e>

*上記のリンク先は予告なく変更されることがあります。

*当ボードに搭載される DDR3 メモリは DDR3 800MHz を実現するための条件を満たす相当品に変更させていただきますが、あらかじめご了承ください。

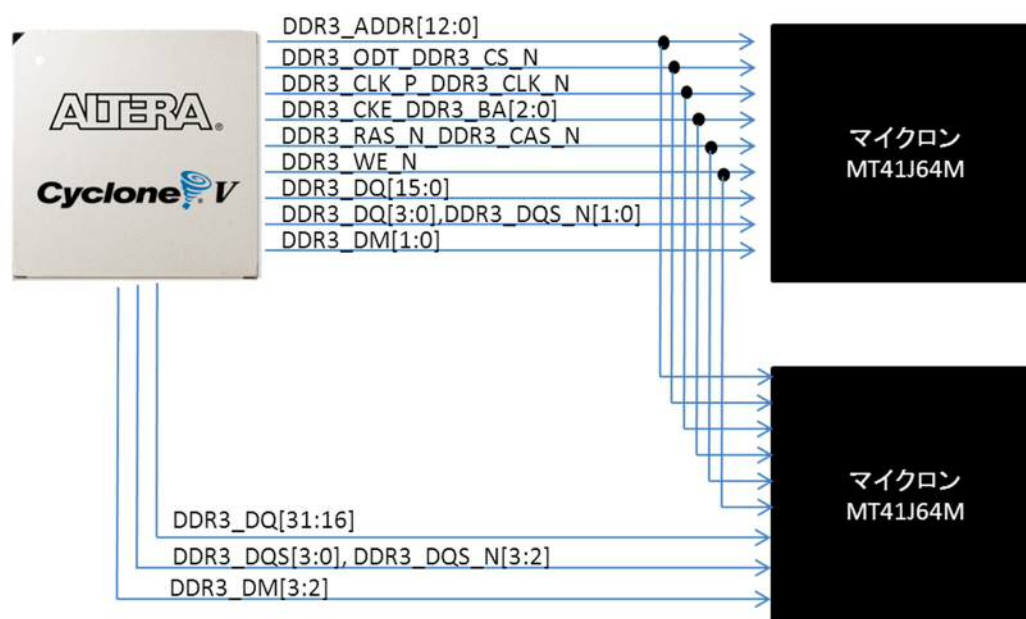


図 6 FPGA と DDR3 メモリの接続

表 6. FPGA 及び DDR3 メモリピン情報

信号名	FPGA ピン番号	DDR#0 ピン番号	DDR#1 ピン番号	信号名	FPGA ピン番号	DDR#0 ピン番号	DDR#1 ピン番号
DDR3_ADDR0	AE6	N3	N3	DDR3_DQ8	AC15	D7	
DDR3_ADDR1	AF6	P7	P7	DDR3_DQ9	AB15	C3	
DDR3_ADDR2	AF7	P3	P3	DDR3_DQ10	AC14	C8	
DDR3_ADDR3	AF8	N2	N2	DDR3_DQ11	AF13	C2	
DDR3_ADDR4	U10	P8	P8	DDR3_DQ12	AB16	A7	
DDR3_ADDR5	U11	P2	P2	DDR3_DQ13	AA16	A2	
DDR3_ADDR6	AE9	R8	R8	DDR3_DQ14	AE14	B8	
DDR3_ADDR7	AF9	R2	R2	DDR3_DQ15	AF18	A3	
DDR3_ADDR8	AB12	T8	T8	DDR3_DQ16	AD16		F3
DDR3_ADDR9	AB11	R3	R3	DDR3_DQ17	AD17		F7
DDR3_ADDR10	AC9	I7	I7	DDR3_DQ18	AC18		F2
DDR3_ADDR11	AC8	R7	R7	DDR3_DQ19	AF19		F8
DDR3_ADDR12	AB10	N7	N7	DDR3_DQ20	AC17		H3
DDR3_BA0	V10	M2	M2	DDR3_DQ21	AB17		H8
DDR3_BA1	AD8	N8	N8	DDR3_DQ22	AF21		G2
DDR3_BA2	AE8	M3	M3	DDR3_DQ23	AE21		H7
DDR3_DM0	AF11	E7		DDR3_DQ24	AE15		D7
DDR3_DM1	AE18	D3		DDR3_DQ25	AE16		C3
DDR3_DM2	AE20	E7		DDR3_DQ26	AC20		C8
DDR3_DM3	AA14		D3	DDR3_DQ27	AD21		C2
DDR3_CS_N	R11	L2	L2	DDR3_DQ28	AF16		A7
DDR3_CAS_N	W10	K3	K3	DDR3_DQ29	AF17		A2
DDR3_RAS_N	Y10	J3	J3	DDR3_DQ30	AD23		B8
DDR3_WE_N	T9	L3	L3	DDR3_DQ31	AF23		A3
DDR3_RESET_N	AE19	T2	T2	DDR3_DQS_P1		C7	
DDR3_ODT	AD13	K1	K1	DDR3_DQS_N1		B7	
DDR3_DQ0	AA14	F3		DDR3_DQS_P0		F3	
DDR3_DQ1	Y14	F7		DDR3_DQS_N0		G3	
DDR3_DQ2	AD11	F2		DDR3_DQS_P3			C7
DDR3_DQ3	AD12	F8		DDR3_DQS_N3			B7
DDR3_DQ4	Y13	H3		DDR3_DQS_P0			F3
DDR3_DQ5	W12	H8		DDR3_DQS_N0			G3
DDR3_DQ6	AD10	G2		DDR3_CLK_P		J7	J7
DDR3_DQ7	AF12	H7		DDR3_CLK_N		K7	K7
				DDR3_CKE		K9	K9

5.7 FLASH / SRAM

当ボードにはマイクロテクノロジー社製 JS28F256M29EWL (16bit 幅, 256Mbits)FLASH ROM 及び IDT 社製 IDT71V416S10PHG8 (16bit 幅, 4Mbit)SRAM を搭載しております。アドレス、データバスは FLASH / SRAM 共有で使用されています。これらのデバイスは、Cyclone V GX FPGA で Nios® II プロセッサを使用する際に、Nios II のソフトウェアブート用として FLASH を、Nios II 用のキャッシュ ROM として SRAM をご利用頂く事が可能です。もちろん、汎用 FLASH、SRAM としての使用も可能ですので、ご活用ください。FLASH 及び SRAM と FPGA のピン情報は図 7 をご確認ください。

Flash ROM のデータシートは、以下の URL より入手してください。

<http://www.micron.com/parts/nor-flash/parallel-nor-flash/js28f256m29ewla?pc={9A9BFAD5-DEE0-49F7-ACE8-ED039D2582D6}>

*上記のリンク先は予告なく変更されることがあります。

SRAM のデータシートは、以下の URL より入手してください。

<http://ja.idt.com/products/memory-logic/srams/asynchronous-srams/71v416-33v-256k-x-16-asynchronous-static-ram-center-pwr-gnd-pinout>

*上記のリンク先は予告なく変更されることがあります。

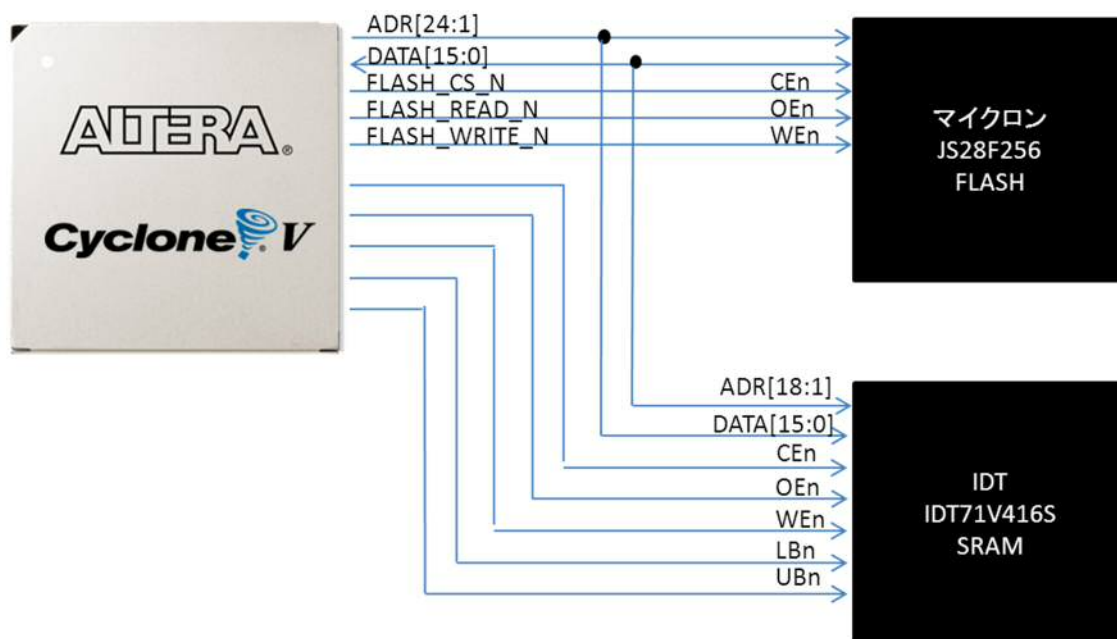


図 7. FPGA 及び FLASH/SRAM のピン情報

表 7. FPGA 及び FLASH/SRAM ピン情報

信号名	FPGA ピン番号	FLASH ピン番号	SRAM ピン番号	信号名	FPGA ピン番号	FLASHピン 番号	SRAMピン 番号
FLASH_ADDRESS1	AD26	A0	A0	FLASH_DATA0	V24	DQ0	DQ0
FLASH_ADDRESS2	AF26	A1	A1	FLASH_DATA1	V23	DQ1	DQ1
FLASH_ADDRESS3	AE25	A2	A2	FLASH_DATA2	W26	DQ2	DQ2
FLASH_ADDRESS4	AF24	A3	A3	FLASH_DATA3	W25	DQ3	DQ3
FLASH_ADDRESS5	AE23	A4	A4	FLASH_DATA4	AA26	DQ4	DQ4
FLASH_ADDRESS6	AB22	A5	A5	FLASH_DATA5	AA24	DQ5	DQ5
FLASH_ADDRESS7	AD22	A6	A6	FLASH_DATA6	AB26	DQ6	DQ6
FLASH_ADDRESS8	AF22	A7	A7	FLASH_DATA7	AB25	DQ7	DQ7
FLASH_ADDRESS9	AA21	A8	A8	FLASH_DATA8	AC25	DQ8	DQ8
FLASH_ADDRESS10	Y20	A9	A9	FLASH_DATA9	AD25	DQ9	DQ9
FLASH_ADDRESS11	AD20	A10	A10	FLASH_DATA10	Y24	DQ10	DQ10
FLASH_ADDRESS12	V19	A11	A11	FLASH_DATA11	Y23	DQ11	DQ11
FLASH_ADDRESS13	Y19	A12	A12	FLASH_DATA12	AA23	DQ12	DQ12
FLASH_ADDRESS14	AB19	A13	A13	FLASH_DATA13	AA22	DQ13	DQ13
FLASH_ADDRESS15	AC19	A14	A14	FLASH_DATA14	AC23	DQ14	DQ14
FLASH_ADDRESS16	AD18	A15	A15	FLASH_DATA15	AC22	DQ15/A-1	DQ15
FLASH_ADDRESS17	AA18	A16	A16	FLASH_CS_N	U22	CE_N	
FLASH_ADDRESS18	Y18	A17	A17	FLASH_READ_N	V22	OE_N	
FLASH_ADDRESS19	W18	A18		FLASH_WRITE_N	W21	WE_N	
FLASH_ADDRESS20	V18	A19		SRAM_CS_N	V20		CS_N
FLASH_ADDRESS21	V17	A20		SRAM_OE_N	U15		OE_N
FLASH_ADDRESS22	U17	A21		SRAM_WRITE_N	T17		WE_N
FLASH_ADDRESS23	Y16	A22		SRAM_BE0_N	U20		BLE_N
FLASH_ADDRESS24	U16	A23		SRAM_BE1_N	T19		BLH_N

5.8 USB 2.0

当ボードには USB2.0 インタフェース用としてサイプレスセミコンダクタ社の EZ-USB[®] CY7C68013A-56LTXC を搭載しております。当デバイスは、USB2.0 トランシーバ、8051 マイクロプロセッサによる USB コントローラ、16KB RAM 等が統合された USB2.0 インタフェース用統合コントローラです。当ボードに搭載している Cyclone V GX FPGA は サイプレスセミコンダクタ社の EZ-USB より GPIF レベルで信号を受信します。FPGA 及び CY7C68013 のピン情報については、図 8 及びピン配置リストをご確認ください。サイプレス社 EZ-USB のデータシートに関しては、以下の URL より入手してください。

<http://www.cypress.com/?mpn=CY7C68013A-56LTXC>

*上記のリンク先は予告なく変更されることがあります。



図 8. FPGA 及び EZ-USB の接続情報

表 8. FPGA 及び EZ-USB のピン情報

信号名	FPGA ピン番号	USB ピン番号	信号名	FPGA ピン番号	USB ピン番号
EZ_PA0	G25	33	EZ_PD0	B26	45
EZ_PA1	G24	34	EZ_PD1	B25	46
EZ_PA2	G22	35	EZ_PD2	C25	47
EZ_PA3	H25	36	EZ_PD3	D26	48
EZ_PA4	H24	37	EZ_PD4	D25	49
EZ_PA5	H23	38	EZ_PD5	D22	50
EZ_PA6	H22	39	EZ_PD6	E26	51
EZ_PA7	J23	40	EZ_PD7	E25	52
EZ_PB0	E24	18	EZ_RDY0	J25	1
EZ_PB1	E23	19	EZ_RDY1	J26	2
EZ_PB2	E21	20	EZ_CLK	K25	13
EZ_PB3	F24	21	EZ_WAKEUP	K26	44
EZ_PB4	F23	22	EZ_RESET_N	L23	32
EZ_PB5	F22	23	EZ_CTL0	K24	29
EZ_PB6	F21	24	EZ_CTL1	K23	30
EZ_PB7	G26	25	EZ_CTL2	L24	31

5.9 10/100 イーサネット

当ボードにはイーサネット・インタフェース用としてテキサス・インスツルメンツ社 DP83865DVH を搭載しております。テキサス・インスツルメンツ DP83865DVH は、1.8V、0.18 μ プロセスを用いた超低消費電力のイーサネット・インタフェース用トランシーバです。FPGA 及び DP83865DVH のピン情報については、図 9 及びピン配置リストをご確認ください。

本 LSI のデータシートに関しては、以下の URL より入手してください。

<http://www.ti.com/product/dp83865>

*上記のリンク先は予告なく変更されることがあります。

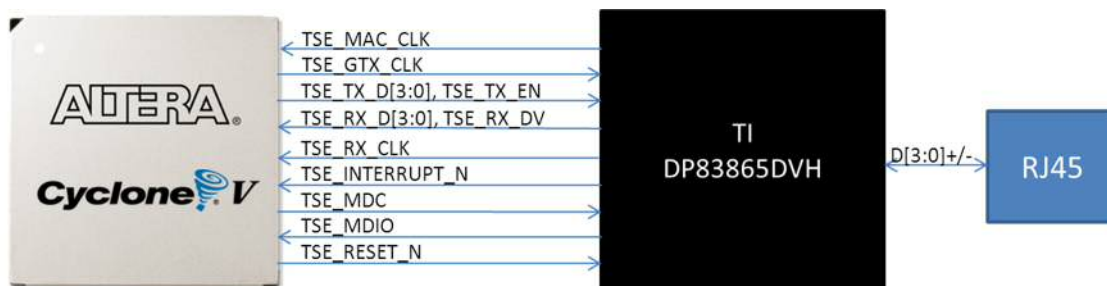


図 9. FPGA 及び DP83865DVH の接続情報

表 9. FPGA 及び DP83865DVH のピン配置リスト

信号名	FPGA ピン番号	DP83865 ピン番号
TSE_MAC_CLK	N20	85
TSE_RESET_N	P21	33
TSE_RX_CLK	R20	44
TSE_RX_DV	R25	41
TSE_RX_D0	R26	56
TSE_RX_D1	P26	55
TSE_RX_D2	P23	52
TSE_RX_D3	N25	51
TSE_GTX_CLK	F26	79
TSE_TX_EN	N23	62
TSE_TX_D0	N24	76
TSE_TX_D1	M26	75
TSE_TX_D2	M25	72
TSE_TX_D3	M24	71
TSE_MDIO	R23	80
TSE_MDC	P22	81
TSE_INTERRUPT_N	P20	3

5.10 24 ビットオーディオ・コーデック

当ボードには Audio インタフェース用 24bit CODEC 用として NXP セミコンダクターズ 社の UDA1345TS を搭載しています。FPGA 及び DP83865DVH のピン情報については、図 10 及びピン配置リストをご確認ください。

本デバイスのデータシートに関しては、以下の URL より入手してください。

http://www.nxp.com/documents/data_sheet/UDA1345TS.pdf

*上記のリンク先は予告なく変更されることがあります。

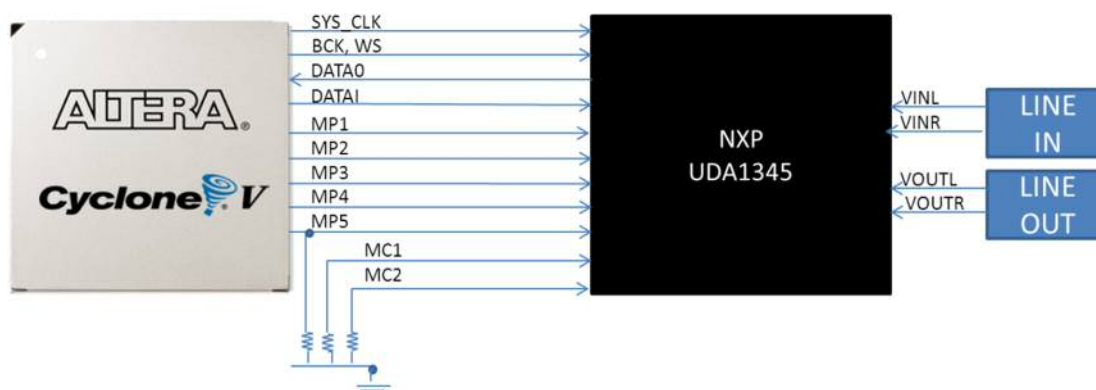


図 10. FPGA 及び UDA1345 の接続情報

信号名	FPGA ピン番号	Audio ピン番号
AUDIO_SYSCLK	Y25	12
AUDIO_BCK	Y26	16
AUDIO_DI	T26	18
AUDIO_WS	U25	17
AUDIO_DO	U26	19
AUDIO_MC	T22	8/21
AUDIO_MP1	T24	9
AUDIO_MP2	U24	13
AUDIO_MP3	V25	14
AUDIO_MP4	R24	15
AUDIO_MP5	T23	20

表 10. FPGA 及び UDA1345 のピン配置リスト

5.11 ユーザ・インタフェース

当ボードには、お客様が独自に設定可能な各種入力インタフェースが用意されています。8 個の LED、2 個の 7 セグ、4 個のプッシュボタン、1 個の DIP スイッチ、キャラクタ LCD、UART がユーザ・インタフェースとして用意されています。各ピンの仕様については、以下のピンリストをご確認ください。

信号名	FPGAピン 番号	機能	信号名	FPGAピン 番号	機能
LED_N0	H19	LED8～0	DIPSW0	P12	User DIP SW
LED_N1	G20		DIPSW1	T12	
LED_N2	H20		DIPSW2	U9	
LED_N3	J20		DIPSW3	V9	
LED_N4	J21		LCD_DATA0	H7	キャラクタLCD
LED_N5	K21		LCD_DATA1	H8	
LED_N6	M22		LCD_DATA2	H9	
LED_N7	M21		LCD_DATA3	G6	
SEVEN_SEG0	AD7	SEVEN SEG 0	LCD_DATA4	G7	
SEVEN_SEG1	AD6		LCD_DATA5	F6	
SEVEN_SEG2	AB6		LCD_DATA6	F7	
SEVEN_SEG3	AA7		LCD_DATA7	E6	
SEVEN_SEG4	AA6		LCD_E	J8	
SEVEN_SEG5	Y9		LCD_RS	J7	
SEVEN_SEG6	Y8		LCD_RW	K9	
SEVEN_SEG7	W8	SEVEN SEG 1	PUSHSW_N0	AB24	User Push Button
SEVEN_SEG8	V8		PUSHSW_N1	W20	
SEVEN_SEG9	U7		PUSHSW_N2	AC13	
SEVEN_SEG10	T8		PUSHSW_N3	V12	
SEVEN_SEG11	T7		UART_RXD	L7	UART
SEVEN_SEG12	R10		UART_TXD	K6	
SEVEN_SEG13	R9				
SEVEN_SEG14	R8				
SEVEN_SEG15	P8				

表 11. 各種入力インタフェースピン配置リスト

5.12 クロック回路

このセクションでは、当ボードに搭載されているクロック回路について解説します。

5.12.1 ボード搭載オシレータ

当ボードには、FPGA の回路で使用可能なクロックとして 25-MHz, 50-MHz, 125-MHz をご用意しています。当ボードへのクロック入力に関しては、表 11 をご確認ください。

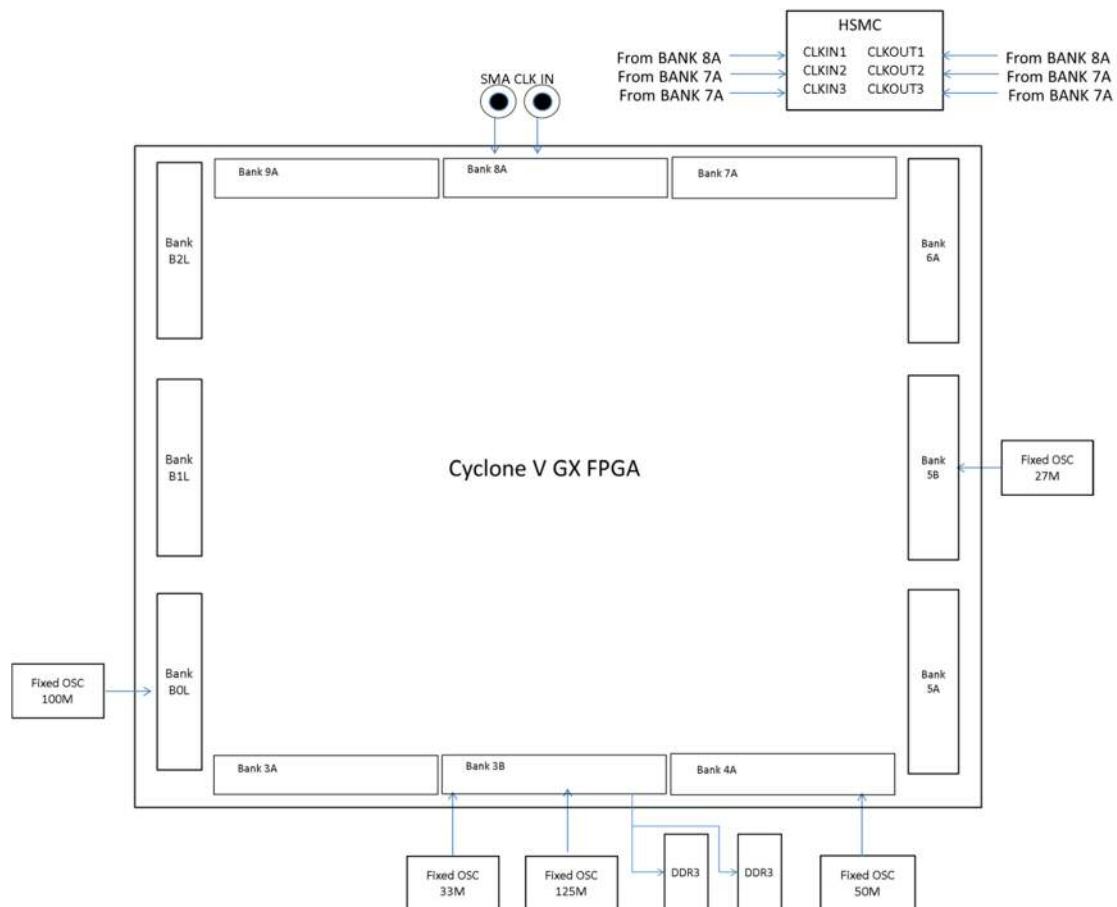


表 11. クロック入力系統図

表 12 に当ボードに搭載されているクロックリソースの周波数、I/O スタンドアード、およびピン番号を示します。

表 12. オンボード・クロックリソース

部品番号	回路図の信号名	周波数	I/O スタンドアード	Cyclone V ピン番号	用途
U7	CLK27M	27 MHz	3.3V	T21	ユーザ・ロジック
U8	CLK33M	33 MHz	1.8V	T13	ユーザ・ロジック
U10	CLK50M	50 MHz	1.8	U12	ユーザ・ロジック
U11	CLK125M	125 MHz	1.8V	P11	ユーザ・ロジック
U3	DIFF0_P	100 MHz	LVDS	V6	トランシーバ・リファレンス
	DIFF0_N	100 MHz	LVDS	W6	トランシーバ・リファレンス
U18	TSE_MAC_CLK	25 MHz	3.3V	N20	イーサネット PHY
	TSE_RX_CLK	25 MHz	3.3V	R20	イーサネット PHY
U22	EZ_CLK	48 MHz	3.3V	K25	USB 2.0 コントローラ

5.12.2 外部入力・出力クロック

当ボードは、外部からの入力クロックを HSMC または SMA を介して入力することが可能です。表 13 に外部入力クロックの一覧を示します。

表 13. 外部入力クロック

部品	回路図の信号名	I/O スタンドアード	Cyclone V ピン番号	詳細
HSMC	HSMC_1_CLKIN	2.5V	L8	HSMC ケーブルまたはドータカードからのシングルエンの入力。
HSMC	HSMC_2_CLKIN_P	LVDS/ 2.5V	H12	HSMC ケーブルまたはドータカードからの LVDS 入力。2 x 2.5V のデータ入力ピンとして使用可能。
	HSMC_2_CLKIN_N	LVDS/ 2.5V	G11	
HSMC	HSMC_3_CLKIN_P	LVDS/ 2.5V	G15	HSMC ケーブルまたはドータカードからの LVDS 入力。2 x 2.5V のデータ入力ピンとして使用可能。
	HSMC_3_CLKIN_N	LVDS/ 2.5V	G14	
SMA	SMA_CLKIN	2.5V	N9	SMA コネクタ

表 14 に当ボードの外部出力クロックを示します。

表 14. 外部出力クロック

部品	回路図の信号名	I/O スタンダード	Cyclone V ピン番号	詳細
HSMC	HSMC_1_CLKOUT	2.5V	A7	FPGA 2.5V 出力(または GPIO)
HSMC	HSMC_2_CLKOUT_P	LVDS/ 2.5V	B15	HSMC ケーブルまたはドータカードからの LVDS 出力. 2 x 2.5V のデータ出力ピンとして使用可能.
	HSMC_2_CLKOUT_N	LVDS/ 2.5V	C15	
HSMC	HSMC_3_CLKOUT_P	LVDS/ 2.5V	A23	HSMC ケーブルまたはドータカードからの LVDS 出力. 2 x 2.5V のデータ出力ピンとして使用可能.
	HSMC_3_CLKOUT_N	LVDS/ 2.5V	A22	
SMA	SMA_CLKOUT	2.5V	M9	SMA コネクタ

5.13 電源ツリー

当ボードでは、電源デバイスとしてリニアテクノロジー社の電源デバイスを使用しています。図 12 に当ボードの電源ツリー図を示します。

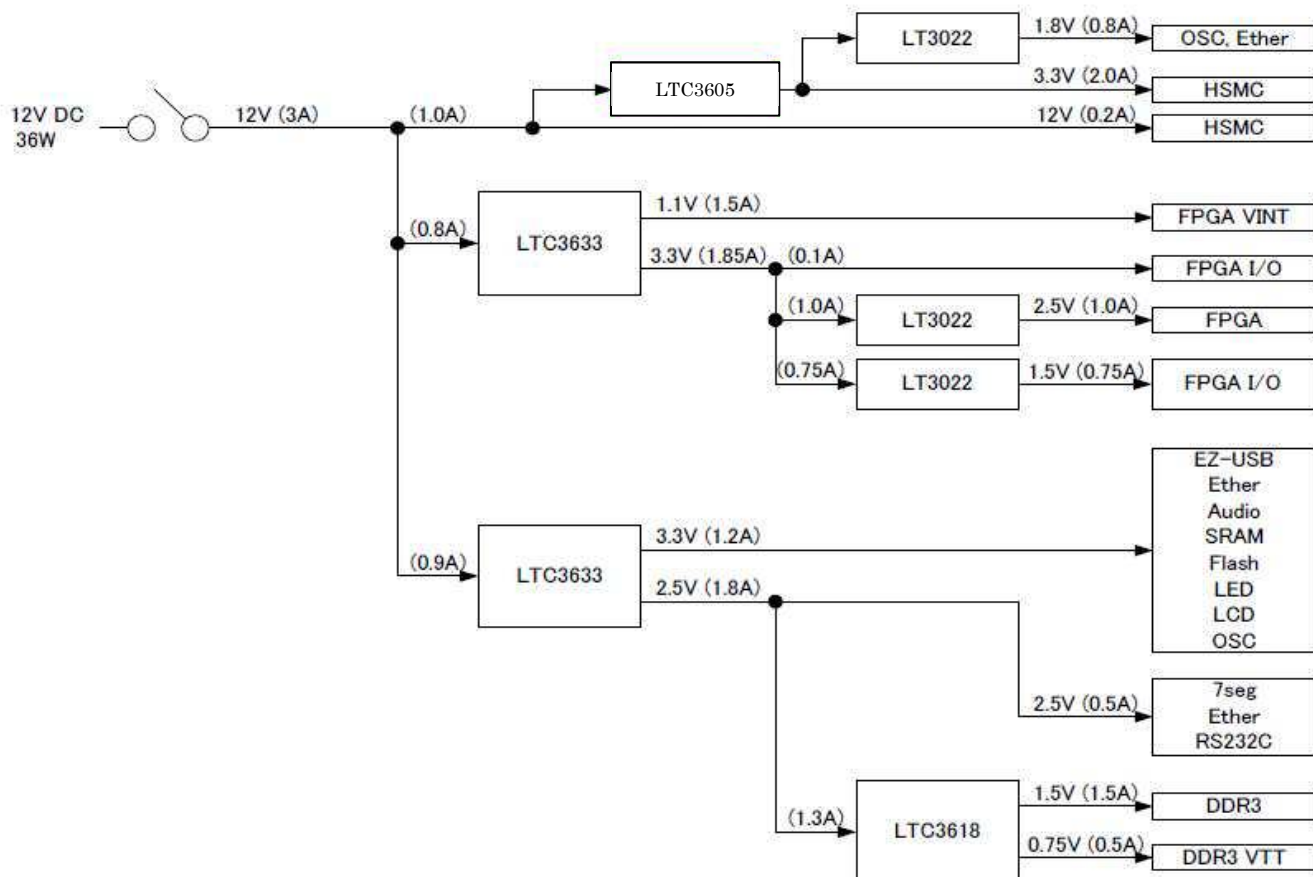


図 12. Beryll 電源ツリー

6. 使用上の注意事項

6.1 未使用ピンのモード選択

ハードウェア・デザイン上で使用されていないピン(未使用ピン) の処理を行います。当ボードを使用する場合は、未使用ピンをトライステート・モードに設定しておく必要があります。以下に Quartus II 開発ソフトウェアにおける未使用ピンの設定方法を示します。

1. Assignments メニュー > Device を選択します。
2. [Device & Pin Options] ボタンをクリックします。
Device & Pin Options ウィンドウが表示されます。
3. Unused Pins タブを選択します。
4. Reserve all unused pins 項目で As input tri-stated を選択します。
5. [OK] ボタンをクリックします。
6. [OK] ボタンをクリックし、Device & Pin Options ウィンドウを閉じます。

7. 改定履歴

日付	版	更新概要
2014 年 2 月 1 日	0.1	• 初版
		•
		•

免責、及び、ご利用上の注意

弊社より資料を入手されましたお客様におかれましては、下記の使用上の注意を一読いただいた上でご使用ください。

1. 本資料は非売品です。許可無く転売することや無断複製することを禁じます。
2. 本資料は予告なく変更することがあります。
3. 本資料の作成には万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、下記までご一報いただければ幸いです。

株式会社マクニカ

戦略技術本部 Mpression 推進部

〒222-8561 横浜市港北区新横浜 1-6-3 HP: <http://www.m-pression.com>

4. 本資料で取り扱っている回路、技術、プログラムに関して運用した結果の影響については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. 製品をご使用になる場合は、各デバイス・メーカーの最新資料もあわせてご利用ください。